進退記

秘
番外書類

和書門
類 二三二二八
號
六二
函
八
架
七
冊

內閣文庫
和書
類 二三二二八
號
冊 七
函 五三
架 二二

諸禮雜儀

內閣文庫
番號 和 23228
冊數 7 (3)
函號 153 380

国立公文書館
National Archives of Japan

進退記　半二

内閣文庫

一

矢を射て出る事　相手射て羽と出る者は敵中の道
をたのみ射て出へし　相手射て出る者せいかい出るのし
こゝろ九のゆゑと三右九ゆゑと出さたのものはそけ
やしの道と射羽と我たのもへあひらしたのものゆゑ根
をとゝていふも後ろてをたゝ但をハ敵矢ハすし但矢ハも
かゝ矢をとゝ味方の道と右のものを射て味方の矢を
海りハ敵中の道と九ゆゑ射て海りし
ちまに海りハ味方のものと九ゆゑ射て海りし
矢をとゝ海りハ味方のものを射て出さしし九のゆハ
矢をとゝくるものを人をよるべし　出るべし　出るものあるべし

何にもひぶの立花図和文立花書人ののいちもとをえべし

一　夫代と度もてはいと人の夫代とハはくぶべりてきのとさはぶ
左ふ門老の事をもたなかもて筆中のもとを持くかはるる度
べし根ちかとハ大中と門老の事を持人のよいちかはきて
て度なり

一　ちとをもとてて度ふ出事
ちとをもとてて度ふ出事持て出ちハ大ちをもたるのわく
持くて出てをもとりふ筆くをちとをもとまくをて度をもべし
文立花海老ふ前のあくしたて中ちあるべし又ちとをもと一
男をもとをもとふくちとをもとて出て行の古ふをもとをもとて出て系
ちぶりのはのあくて度べしくて文立人もちるをもとをれ海くて文

一　ちとをもとふ前のおとくて
他人のちをもとをもとふ
一　ちとをもと人又ハ年人のちをもとふをもとちをもとをもとハたるをもべくちるげて持はもちハたるをもとを
ちをもとふ前のあくけるちをもとをもとをもとハはちの人文をもとを
ちをもとふ門のあるくて門ふ前をもとをもとをもとあるべくをちを
をもとをもとて持をもとをもとあるちをもとあるをもとハ他
ちをもとの中をもとをもとをもとをもとあるふをもとの文をもとを持
あるくて出ちをもとをもとをもと

方より右手のかたを持ちて左もおのゝ法とうかゝ拵て持て
行るの法と出てるの方へ法と上へかゝ浮とる
の頭の方へかゝたのゝかたをかゝへかゝ
かたをかぶりより右手をもて左
かたをとゝふきとゝ人のかたをうの拵より出すべし又たの二人
川幅のとゝてたゝへかゝ引きるはかゝ右かゝ拵出るか
とも出べし右かゝ出さかるのゝてゝこのゝ上へかゝすとこし
て出べしとはかたかゝかぶりの上と持たかゝかぶりの下
と持て出べしとかの法のかゝ又うかゝ進はも同拵出べし
先手をかゝるのたかゝ拵せかの方と出すべし
右かゝ拵せかぶ板の方と出へかゝ又射るかぶる先と
らするはかたかゝ拵せかぶかたかゝ

一

せかの方と出べしるはかたかゝ拵せかぶ板の方と出へかゝ
又射るかゝたる先とかゝするはかたかゝ拵せかぶ
月のかたかゝ拵せかたてらみを拵て養月の方と出す
し常の先も同かゝ拵せかぶ
うはがと矢れ演事
鞆と演事うけ者無者ともうはかの腦よさかりかゝとも
たのひかゝとゝ右の膝とかゝ拵せかぶの方と上へかけたを
後人の方へかぶかゝて矢のかぶかゝ演へかゝ矢れ拵も矢のかぶとし
又無法法法とたのかぶかゝ別たのかぶて腦と拵て前の
かゝ演へかゝはけもかぶと後人かぶて演とかぶし矢れ拵あの
かぶの上かゝたのかぶてるはけかぶる法小腦とかぶ拵たのかぶて先
はかぶとれて拵かれたかゝ拵出かぶし
あの人かぶかぶるかぶかゝ拵出かぶし

手付無之ときハ結とけて悪きも、結の子けてもよく
ものと入組とかて法れば、又先人こまるけハ手をつきて右
此品のせて出すべし夫の根こるもひとふのせと同し
一うらはぐ一屋ふ源事
うとうはぐ一屋ふ源いく先うと法て法る鞠と屋位
先人ものと則出はけいく先はけいう手をて法ふうと
へこれ法ものうもし夫のあくたるべし又うつわのことさうる
を法有ものうと対してもうのうこと対ととうへうば
寸へふのくたるべくはうはかとうはの強るうはの事し
常のうはわいやまとうはぐとうはぐとて下し
一うう朝と門の屋ふ源事
ううはまわと門の考ふ出と法ものうと法れるの強の事

先人ものと法とのうとたるの結て先ものうと出し手法うと門ふ
法れるものとし右のものとかと門ぐふけた出也又ものとたるの
うと門ふうう出と中法もうとうハ先ものうと出て法て法
ものうと出すし夫ものて勝るものけハ法ものうべくハ法て
結るものハ何ものもものべし門ものうと結人ものと出ものと門ふ
一うと夫門事
一うと法べうと夫門と結事の結うハ前のものくたふ結べくと文
門ハたのものと結しふものうとものうもべうべくうとうべし
一人ものまくせいけハ夫の門とたの脇ものうに毛て先ものうと事
らせて法先門とをうべし夫門の出法夫のうとうと出べし
一うと法夫結事
一うと法夫結ものうと事
一うハ法と細ものうふうとうふ法ものうべし法

板に紙をうちはりてあるを〳〵それをのべてにぎりより
たかすみ上ゝて外行の方ゝ結〳〵矢ハ籠ゝ
さすべしうの扶伝にさりとも
と肩よりあてゝ扶〳〵籠いたのゝ面をとりて〳〵扶〳〵扶
あるをもとゝ二人のたれ方ゝ扶伝矢ともう
の矢ゝ立落て籠ゝ〳〵まいりて退〳〵前ハ伝矢といふ二人の
小三ゝ扶ともも前ハ二ゝ後ハ引ゝ立て立て出ハ式の
引出あのはのゝし又常ゝ参ゝ源内も同あし

籠ゝ羽と唐ゝ

籠と羽と二人のたゝ羽と二人のたゝ唐ゝ伝ゝ唐ゝ出〳〵たのゝ
ゝ〳〵ゝたのゝ矢ゝ結たのゝ〳〵あゝ唐ゝ伝ゝ唐ゝ
て結羽のゝ元の方と二人の方あ〳〵一ゝ〳〵ゝ結て

源内ゝ結ゝ〳〵ゝ結ゝ〳〵ゝ唐ゝ伝ゝ唐ゝ源し
唐ゝ扶伝あゝ扶〳〵ゝ

扶ゝ矢ゝ源事

先ゝ〳〵ゝ結ゝ〳〵ゝ結ゝ〳〵ゝ籠ゝ〳〵ゝ
たのゝ上ゝ〳〵ゝ結ゝ〳〵ゝ結ゝ〳〵ゝ
同ゝ〳〵ゝ結ゝ〳〵ゝ結ゝ〳〵ゝ
の間ゝ〳〵ゝ結ゝ〳〵ゝ結ゝ〳〵ゝ
籠方ゝ〳〵ゝ結ゝ〳〵ゝ結ゝ〳〵ゝ
ゝ〳〵ゝ結ゝ〳〵ゝ結ゝ〳〵ゝ
矢ゝ扶伝ゝ〳〵ゝ結ゝ〳〵ゝ
籠ゝ〳〵ゝ結ゝ〳〵ゝ結ゝ〳〵ゝ
とゝ扶ゝ〳〵ゝ結ゝ〳〵ゝ結ゝ〳〵ゝ

ゐるゝとたのおとくきてたのもふ海よりあらう玉とおもく
結のはけきとたのもとにきてこゆしのよるひとと
きへてたのもとハ結の海とこ物ゐ〳〵ちにつれたのもふ海が
けとをこゆぐ〳〵ちとゆ〳〵とあけて雲のごとく海をゆる
文永弘たのもて結とれたてゆゞけとその人は物
ゐ〳〵文永べし

一

三人寄人ゆゞけさ〳〵は事

三人寄人ゆゞけさ〳〵は事あるせんて物ゐびきてえて
結物の間と海結けて大たれゆゞけ斗ゐて色も結と
もの間ゐうけてあるせ結と出さ〳〵ゐうたのゆうけと文
たのでゐ〳〵てゆゞ物ちたゐとさ〳〵ゐてあると結たとあう
もゐ屋し

一

敬文永渡事

敬文永渡事
敬物とおて出ゐ結ちはゐとゐ寄ふゐ〳〵ゐてゐう
はゐ出結とたのもれ人さ〳〵ゆゞけて三はゐの事とおて
たのもゐ物て出ゐと物さ人へ海ゐは出寄ゐてゐはゐと
たのもゐゐ物ちの中結と右れゐゐりてゐはゐの方
とあけて物へ出文永ゐは乃ゐ物ゐすゞ〳〵ゐ寄
寄ゐゐ海ゐは物ちの中海と物ゐはゐのゐとあけたへ
ゐゞ〳〵たのもゐ物たのもゐゐはゐて海ゐ〳〵文永
事ゐ人いゐはゐとゐのゐゞし寄ゐの人い人のもれちと
たのもゐゐゐゞしゐ寄ゐの人のもれちと
ゞし物ゐゐゐて物ゐ人のもれちとあゐて文永
敬物ゐの事

国立公文書館
National Archives of Japan

一
鞠拍子のはい方のもの、てうはうにてとる程中てをかな
ぬきこうはうをあけてたの方へ右の人の出をぬき
あらたのもとをつかふをこゝろ得べし

一
鞠をとる上の出事
鞠をとる上の人は源事出をのごとく鞠の結をとりはかる所
方のもの、ぬきをとり拍子をうてたの方へうつる
のもの、てうはうの方と人の見出をとゝまる所をそん
あとをいたのもの、出にとる有るとはいたのもの中程をぬき
たのもの、ていたの方のはをとられてたのもの、てうはうの方と
所をもつて出をでし鞠をのもの、ちをとる人のもの上に出をは
はるのをこゝろをもつてゆけどもとるべきとづる

拍子をぬき出べし一度ぬきのもの、はの程をとるとてのべし
鞠ゆりは一度をまはりをまはりをすべはゆりはいとる鞠をとる上鞠をこゝ
鞠練一度ふまはりをすべはゆりはいとる鞠をとる上鞠をこゝ
はのの方とをこゝろ得べしゆりはいとるべはゆりはいとるべをこゝ
ゆりは鞠をぬきて出べし別にふまはりをせいたのもの、ぬきて拍
鞠をとられて右の拍子をとる人ゆりはをとる程ゆりはをとるべし

一
出をとるとる中事たたとゝ結のもとるとゝ右の拍子
てをとるとるとゝ拍のもとるとゝ拍子右の出をとゝ
のもの、たの出のたてあげとゝ結ゝゆりは結をとるとゝ出をあげの
方へのゝゆりはをたの出をとるとゝ結をとるとゝ出をとるとゝ
むをとゝとゝゆりはをとるとゝ出べし拍子をとるとゝ出をとゝ

出入のしゐ人のたゝかひあるべし拂ひ方とおのゝゝめるせんぶ
又はせ中はい市屋にまりうきはけすとえてぬらせすし又當と
市用よりけはいはい左當とい左屋と日ゐ右當といたのゐ拂く
左ゐと屋にて拂てまりうせの方と市用ふらぶしうせうふ
ふの方ゐりもよ重ゐはも用示

一 敷ゆりけ當ゐ度よりあゐ事

はこゐとまり拂とはゐ當ゐ仇さゐとえゐゝ用うと屋にてた
てあけのゐにゐのゐ拂ゆげい前のゐゝうまにて右のゐふ
拂敷とい方はうとよりあゐし右の方ゐ前ゐりして當ゐ中し
ても前ゐよりあ當とりゐ前ゐてえゐけとおのゐゝ右とゐ
當屋右とゐまりべし拂ゐ敷とおのゐゝあゐせ中屋當
とゐうせ出し仇ゐ右屋にて出ゐ出ゐりえ當と

一 あゐせて度、二度とゐうせゐ事もえゐ拂ゆげ
拂とゐふゐ入ゐ當とゐうせゐ出ゐ當いつも市右ゐう
ゐうせ市ゐうはもゐたりゐうせ中ゐのし

一 拂燈と引事

拂燈と客人ゐ引事右屋ゐ前ゐ右屋と
ゐゐ中とゐり白毛の方と客人の方ふゐあゐ
と拂方ふゐにて客人の右の方ゐちとまちうゐと
屋し

一 拂燈とせ中事

主人半人ゐもりぐゐとせ中事右のゐう結と
とりて右屋と引ゐて市ゐと入ゐせ中うゐすとゐて
右屋と入ゐのゐゝ市ゐと入ゐせ中ゐて右屋の結とゐ

めをはらたをうしなはせ給ひしかは
ふしぎとおもふ事なれとも
うらのやうをみるに
[illegible]
[illegible]
[illegible]

をも云ふべきなり

ほうびの巻きたる事

一 ほうびの巻きたるハ方わ紙代金の事しらたる方右わ紙代銀拾匁ほうびの巻きたる方ハ二ツ方わ紙と渡ハ二ツ方わ紙と渡し

七郡の引物と云事　ほとゝぎすの口ぶゝ　すのこゝろとも云

一 七郡の引物ハ渡ハ初郡ハ二ツ方三ツ渡又ハ渡ハ四ツ方

甲山郡ハ渡ハ二ツ方ハ渡ハ五ツ方ハ七ツ方ハ渡し

の面白ハ何のもの人の人の方よ重ねし所の事ゆゑ

但るい庫ハ渡ハ二ツ方ハ渡せ申ス

渡ハ方文ハ渡事

一 渡ハ方常ハ渡ハ二ツ方ハ渡ハ三ツ方ハ渡ハ四ツ方ハ渡ハ五ツ方ハ渡ハ六ツ方ハ渡ハ七ツ方ハ渡ハ八ツ方ハ渡ハ九ツ方ハ渡ハ十ツ方ハ渡ハ十一ツ方ハ渡ハ十二ツ方ハ渡ハ十三ツ方ハ渡ハ十四ツ方ハ渡ハ十五ツ方ハ渡ハ十六ツ方ハ渡ハ十七ツ方ハ渡ハ十八ツ方ハ渡ハ十九ツ方ハ渡ハ二十ツ方ハ渡ハ二十一ツ方ハ渡ハ二十二ツ方ハ渡ハ二十三ツ方ハ渡ハ二十四ツ方ハ渡ハ二十五ツ方ハ渡ハ二十六ツ方ハ渡ハ二十七ツ方ハ渡ハ二十八ツ方ハ渡ハ二十九ツ方ハ渡ハ三十ツ方ハ渡ハ三十一ツ方ハ渡ハ三十二ツ方ハ渡ハ三十三ツ方ハ渡ハ三十四ツ方ハ渡ハ三十五ツ方ハ渡ハ三十六ツ方ハ渡ハ三十七ツ方ハ渡ハ三十八ツ方ハ渡ハ三十九ツ方ハ渡ハ四十ツ方ハ渡ハ四十一ツ方ハ渡ハ四十二ツ方ハ渡ハ四十三ツ方ハ渡ハ四十四ツ方ハ渡ハ四十五ツ方ハ渡ハ四十六ツ方ハ渡ハ四十七ツ方ハ渡ハ四十八ツ方ハ渡ハ四十九ツ方ハ渡ハ五十ツ方ハ渡ハ五十一ツ方ハ渡ハ五十二ツ方ハ渡ハ五十三ツ方ハ渡ハ五十四ツ方ハ渡ハ五十五ツ方ハ渡ハ五十六ツ方ハ渡ハ五十七ツ方ハ渡ハ五十八ツ方ハ渡ハ五十九ツ方ハ渡ハ六十ツ方ハ渡ハ六十一ツ方ハ渡ハ六十二ツ方ハ渡ハ六十三ツ方ハ渡ハ六十四ツ方ハ渡ハ六十五ツ方ハ渡ハ六十六ツ方ハ渡ハ六十七ツ方ハ渡ハ六十八ツ方ハ渡ハ六十九ツ方ハ渡ハ七十ツ方ハ渡ハ七十一ツ方ハ渡ハ七十二ツ方ハ渡ハ七十三ツ方ハ渡ハ七十四ツ方ハ渡ハ七十五ツ方ハ渡ハ七十六ツ方ハ渡ハ七十七ツ方ハ渡ハ七十八ツ方ハ渡ハ七十九ツ方ハ渡ハ八十ツ方ハ渡ハ八十一ツ方ハ渡ハ八十二ツ方ハ渡ハ八十三ツ方ハ渡ハ八十四ツ方ハ渡ハ八十五ツ方ハ渡ハ八十六ツ方ハ渡ハ八十七ツ方ハ渡ハ八十八ツ方ハ渡ハ八十九ツ方ハ渡ハ九十ツ方ハ渡ハ九十一ツ方ハ渡ハ九十二ツ方ハ渡ハ九十三ツ方ハ渡ハ九十四ツ方ハ渡ハ九十五ツ方ハ渡ハ九十六ツ方ハ渡ハ九十七ツ方ハ渡ハ九十八ツ方ハ渡ハ九十九ツ方ハ渡ハ百ツ方ハ渡ハ百一ツ方ハ渡ハ百二ツ方ハ渡ハ百三ツ方ハ渡ハ百四ツ方ハ渡ハ百五ツ方ハ渡ハ百六ツ方ハ渡ハ百七ツ方ハ渡ハ百八ツ方ハ渡ハ百九ツ方ハ渡ハ百十ツ方ハ渡ハ百十一ツ方ハ渡ハ百十二ツ方ハ渡ハ百十三ツ方ハ渡ハ百十四ツ方ハ渡ハ百十五ツ方ハ渡ハ百十六ツ方ハ渡ハ百十七ツ方ハ渡ハ百十八ツ方ハ渡ハ百十九ツ方ハ渡ハ百二十ツ方ハ渡ハ百二十一ツ方ハ渡ハ百二十二ツ方ハ渡ハ百二十三ツ方ハ渡ハ百二十四ツ方ハ渡ハ百二十五ツ方ハ渡ハ百二十六ツ方ハ渡ハ百二十七ツ方ハ渡ハ百二十八ツ方ハ渡ハ百二十九ツ方ハ渡ハ百三十ツ方ハ渡ハ百三十一ツ方ハ渡ハ百三十二ツ方ハ渡ハ百三十三ツ方ハ渡ハ百三十四ツ方ハ渡ハ百三十五ツ方ハ渡ハ百三十六ツ方ハ渡ハ百三十七ツ方ハ渡ハ百三十八ツ方ハ渡ハ百三十九ツ方ハ渡ハ百四十ツ方ハ渡ハ百四十一ツ方ハ渡ハ百四十二ツ方ハ渡ハ百四十三ツ方ハ渡ハ百四十四ツ方ハ渡ハ百四十五ツ方ハ渡ハ百四十六ツ方ハ渡ハ百四十七ツ方ハ渡ハ百四十八ツ方ハ渡ハ百四十九ツ方ハ渡ハ百五十ツ方ハ渡ハ百五十一ツ方ハ渡ハ百五十二ツ方ハ渡ハ百五十三ツ方ハ渡ハ百五十四ツ方ハ渡ハ百五十五ツ方ハ渡ハ百五十六ツ方ハ渡ハ百五十七ツ方ハ渡ハ百五十八ツ方ハ渡ハ百五十九ツ方ハ渡ハ百六十ツ方ハ渡ハ百六十一ツ方ハ渡ハ百六十二ツ方ハ渡ハ百六十三ツ方ハ渡ハ百六十四ツ方ハ渡ハ百六十五ツ方ハ渡ハ百六十六ツ方ハ渡ハ百六十七ツ方ハ渡ハ百六十八ツ方ハ渡ハ百六十九ツ方ハ渡ハ百七十ツ方ハ渡ハ百七十一ツ方ハ渡ハ百七十二ツ方ハ渡ハ百七十三ツ方ハ渡ハ百七十四ツ方ハ渡ハ百七十五ツ方ハ渡ハ百七十六ツ方ハ渡ハ百七十七ツ方ハ渡ハ百七十八ツ方ハ渡ハ百七十九ツ方ハ渡ハ百八十ツ方ハ渡ハ百八十一ツ方ハ渡ハ百八十二ツ方ハ渡ハ百八十三ツ方ハ渡ハ百八十四ツ方ハ渡ハ百八十五ツ方ハ渡ハ百八十六ツ方ハ渡ハ百八十七ツ方ハ渡ハ百八十八ツ方ハ渡ハ百八十九ツ方ハ渡ハ百九十ツ方ハ渡ハ百九十一ツ方ハ渡ハ百九十二ツ方ハ渡ハ百九十三ツ方ハ渡ハ百九十四ツ方ハ渡ハ百九十五ツ方ハ渡ハ百九十六ツ方ハ渡ハ百九十七ツ方ハ渡ハ百九十八ツ方ハ渡ハ百九十九ツ方ハ渡ハ二百ツ方ハ渡ハ二百一ツ方ハ渡ハ二百二ツ方ハ渡ハ二百三ツ方ハ渡ハ二百四ツ方ハ渡ハ二百五ツ方ハ渡ハ二百六ツ方ハ渡ハ二百七ツ方ハ渡ハ二百八ツ方ハ渡ハ二百九ツ方ハ渡ハ二百十ツ方ハ渡ハ二百十一ツ方ハ渡ハ二百十二ツ方ハ渡ハ二百十三ツ方ハ渡ハ二百十四ツ方ハ渡ハ二百十五ツ方ハ渡ハ二百十六ツ方ハ渡ハ二百十七ツ方ハ渡ハ二百十八ツ方ハ渡ハ二百十九ツ方ハ渡ハ二百二十ツ方ハ渡ハ二百二十一ツ方ハ渡ハ二百二十二ツ方ハ渡ハ二百二十三ツ方ハ渡ハ二百二十四ツ方ハ渡ハ二百二十五ツ方ハ渡ハ二百二十六ツ方ハ渡ハ二百二十七ツ方ハ渡ハ二百二十八ツ方ハ渡ハ二百二十九ツ方ハ渡ハ二百三十ツ方ハ渡ハ二百三十一ツ方ハ渡ハ二百三十二ツ方ハ渡ハ二百三十三ツ方ハ渡ハ二百三十四ツ方ハ渡ハ二百三十五ツ方ハ渡ハ二百三十六ツ方ハ渡ハ二百三十七ツ方ハ渡ハ二百三十八ツ方ハ渡ハ二百三十九ツ方ハ渡ハ二百四十ツ方ハ渡ハ二百四十一ツ方ハ渡ハ二百四十二ツ方ハ渡ハ二百四十三ツ方ハ渡ハ二百四十四ツ方ハ渡ハ二百四十五ツ方ハ渡ハ二百四十六ツ方ハ渡ハ二百四十七ツ方ハ渡ハ二百四十八ツ方ハ渡ハ二百四十九ツ方ハ渡ハ二百五十ツ方ハ渡ハ二百五十一ツ方ハ渡ハ二百五十二ツ方ハ渡ハ二百五十三ツ方ハ渡ハ二百五十四ツ方ハ渡ハ二百五十五ツ方ハ渡ハ二百五十六ツ方ハ渡ハ二百五十七ツ方ハ渡ハ二百五十八ツ方ハ渡ハ二百五十九ツ方ハ渡ハ二百六十ツ方ハ渡ハ二百六十一ツ方ハ渡ハ二百六十二ツ方ハ渡ハ二百六十三ツ方ハ渡ハ二百六十四ツ方ハ渡ハ二百六十五ツ方ハ渡ハ二百六十六ツ方ハ渡ハ二百六十七ツ方ハ渡ハ二百六十八ツ方ハ渡ハ二百六十九ツ方ハ渡ハ二百七十ツ方ハ渡ハ二百七十一ツ方ハ渡ハ二百七十二ツ方ハ渡ハ二百七十三ツ方ハ渡ハ二百七十四ツ方ハ渡ハ二百七十五ツ方ハ渡ハ二百七十六ツ方ハ渡ハ二百七十七ツ方ハ渡ハ二百七十八ツ方ハ渡ハ二百七十九ツ方ハ渡ハ二百八十ツ方ハ渡ハ二百八十一ツ方ハ渡ハ二百八十二ツ方ハ渡ハ二百八十三ツ方ハ渡ハ二百八十四ツ方ハ渡ハ二百八十五ツ方ハ渡ハ二百八十六ツ方ハ渡ハ二百八十七ツ方ハ渡ハ二百八十八ツ方ハ渡ハ二百八十九ツ方ハ渡ハ二百九十ツ方ハ渡ハ二百九十一ツ方ハ渡ハ二百九十二ツ方ハ渡ハ二百九十三ツ方ハ渡ハ二百九十四ツ方ハ渡ハ二百九十五ツ方ハ渡ハ二百九十六ツ方ハ渡ハ二百九十七ツ方ハ渡ハ二百九十八ツ方ハ渡ハ二百九十九ツ方ハ渡ハ三百ツ方ハ渡ハ三百一ツ方ハ渡ハ三百二ツ方ハ渡ハ三百三ツ方ハ渡ハ三百四ツ方ハ渡ハ三百五ツ方ハ渡ハ三百六ツ方ハ渡ハ三百七ツ方ハ渡ハ三百八ツ方ハ渡ハ三百九ツ方ハ渡ハ三百十ツ方ハ渡ハ三百十一ツ方ハ渡ハ三百十二ツ方ハ渡ハ三百十三ツ方ハ渡ハ三百十四ツ方ハ渡ハ三百十五ツ方ハ渡ハ三百十六ツ方ハ渡ハ三百十七ツ方ハ渡ハ三百十八ツ方ハ渡ハ三百十九ツ方ハ渡ハ三百二十ツ方ハ渡ハ三百二十一ツ方ハ渡ハ三百二十二ツ方ハ渡ハ三百二十三ツ方ハ渡ハ三百二十四ツ方ハ渡ハ三百二十五ツ方ハ渡ハ三百二十六ツ方ハ渡ハ三百二十七ツ方ハ渡ハ三百二十八ツ方ハ渡ハ三百二十九ツ方ハ渡ハ三百三十ツ方ハ渡ハ三百三十一ツ方ハ渡ハ三百三十二ツ方ハ渡ハ三百三十三ツ方ハ渡ハ三百三十四ツ方ハ渡ハ三百三十五ツ方ハ渡ハ三百三十六ツ方ハ渡ハ三百三十七ツ方ハ渡ハ三百三十八ツ方ハ渡ハ三百三十九ツ方ハ渡ハ三百四十ツ方ハ渡ハ三百四十一ツ方ハ渡ハ三百四十二ツ方ハ渡ハ三百四十三ツ方ハ渡ハ三百四十四ツ方ハ渡ハ三百四十五ツ方ハ渡ハ三百四十六ツ方ハ渡ハ三百四十七ツ方ハ渡ハ三百四十八ツ方ハ渡ハ三百四十九ツ方ハ渡ハ三百五十ツ方ハ渡ハ三百五十一ツ方ハ渡ハ三百五十二ツ方ハ渡ハ三百五十三ツ方ハ渡ハ三百五十四ツ方ハ渡ハ三百五十五ツ方ハ渡ハ三百五十六ツ方ハ渡ハ三百五十七ツ方ハ渡ハ三百五十八ツ方ハ渡ハ三百五十九ツ方ハ渡ハ三百六十ツ方ハ渡ハ三百六十一ツ方ハ渡ハ三百六十二ツ方ハ渡ハ三百六十三ツ方ハ渡ハ三百六十四ツ方ハ渡ハ三百六十五ツ方ハ渡ハ三百六十六ツ方ハ渡ハ三百六十七ツ方ハ渡ハ三百六十八ツ方ハ渡ハ三百六十九ツ方ハ渡ハ三百七十ツ方ハ渡ハ三百七十一ツ方ハ渡ハ三百七十二ツ方ハ渡ハ三百七十三ツ方ハ渡ハ三百七十四ツ方ハ渡ハ三百七十五ツ方ハ渡ハ三百七十六ツ方ハ渡ハ三百七十七ツ方ハ渡ハ三百七十八ツ方ハ渡ハ三百七十九ツ方ハ渡ハ三百八十ツ方ハ渡ハ三百八十一ツ方ハ渡ハ三百八十二ツ方ハ渡ハ三百八十三ツ方ハ渡ハ三百八十四ツ方ハ渡ハ三百八十五ツ方ハ渡ハ三百八十六ツ方ハ渡ハ三百八十七ツ方ハ渡ハ三百八十八ツ方ハ渡ハ三百八十九ツ方ハ渡ハ三百九十ツ方ハ渡ハ三百九十一ツ方ハ渡ハ三百九十二ツ方ハ渡ハ三百九十三ツ方ハ渡ハ三百九十四ツ方ハ渡ハ三百九十五ツ方ハ渡ハ三百九十六ツ方ハ渡ハ三百九十七ツ方ハ渡ハ三百九十八ツ方ハ渡ハ三百九十九ツ方ハ渡ハ四百ツ方ハ渡ハ四百一ツ方ハ渡ハ四百二ツ方ハ渡ハ四百三ツ方ハ渡ハ四百四ツ方ハ渡ハ四百五ツ方ハ渡ハ四百六ツ方ハ渡ハ四百七ツ方ハ渡ハ四百八ツ方ハ渡ハ四百九ツ方ハ渡ハ四百十ツ方ハ渡ハ四百十一ツ方ハ渡ハ四百十二ツ方ハ渡ハ四百十三ツ方ハ渡ハ四百十四ツ方ハ渡ハ四百十五ツ方ハ渡ハ四百十六ツ方ハ渡ハ四百十七ツ方ハ渡ハ四百十八ツ方ハ渡ハ四百十九ツ方ハ渡ハ四百二十ツ方ハ渡ハ四百二十一ツ方ハ渡ハ四百二十二ツ方ハ渡ハ四百二十三ツ方ハ渡ハ四百二十四ツ方ハ渡ハ四百二十五ツ方ハ渡ハ四百二十六ツ方ハ渡ハ四百二十七ツ方ハ渡ハ四百二十八ツ方ハ渡ハ四百二十九ツ方ハ渡ハ四百三十ツ方ハ渡ハ四百三十一ツ方ハ渡ハ四百三十二ツ方ハ渡ハ四百三十三ツ方ハ渡ハ四百三十四ツ方ハ渡ハ四百三十五ツ方ハ渡ハ四百三十六ツ方ハ渡ハ四百三十七ツ方ハ渡ハ四百三十八ツ方ハ渡ハ四百三十九ツ方ハ渡ハ四百四十ツ方ハ渡ハ四百四十一ツ方ハ渡ハ四百四十二ツ方ハ渡ハ四百四十三ツ方ハ渡ハ四百四十四ツ方ハ渡ハ四百四十五ツ方ハ渡ハ四百四十六ツ方ハ渡ハ四百四十七ツ方ハ渡ハ四百四十八ツ方ハ渡ハ四百四十九ツ方ハ渡ハ四百五十ツ方ハ渡ハ四百五十一ツ方ハ渡ハ四百五十二ツ方ハ渡ハ四百五十三ツ方ハ渡ハ四百五十四ツ方ハ渡ハ四百五十五ツ方ハ渡ハ四百五十六ツ方ハ渡ハ四百五十七ツ方ハ渡ハ四百五十八ツ方ハ渡ハ四百五十九ツ方ハ渡ハ四百六十ツ方ハ渡ハ四百六十一ツ方ハ渡ハ四百六十二ツ方ハ渡ハ四百六十三ツ方ハ渡ハ四百六十四ツ方ハ渡ハ四百六十五ツ方ハ渡ハ四百六十六ツ方ハ渡ハ四百六十七ツ方ハ渡ハ四百六十八ツ方ハ渡ハ四百六十九ツ方ハ渡ハ四百七十ツ方ハ渡ハ四百七十一ツ方ハ渡ハ四百七十二ツ方ハ渡ハ四百七十三ツ方ハ渡ハ四百七十四ツ方ハ渡ハ四百七十五ツ方ハ渡ハ四百七十六ツ方ハ渡ハ四百七十七ツ方ハ渡ハ四百七十八ツ方ハ渡ハ四百七十九ツ方ハ渡ハ四百八十ツ方ハ渡ハ四百八十一ツ方ハ渡ハ四百八十二ツ方ハ渡ハ四百八十三ツ方ハ渡ハ四百八十四ツ方ハ渡ハ四百八十五ツ方ハ渡ハ四百八十六ツ方ハ渡ハ四百八十七ツ方ハ渡ハ四百八十八ツ方ハ渡ハ四百八十九ツ方ハ渡ハ四百九十ツ方ハ渡ハ四百九十一ツ方ハ渡ハ四百九十二ツ方ハ渡ハ四百九十三ツ方ハ渡ハ四百九十四ツ方ハ渡ハ四百九十五ツ方ハ渡ハ四百九十六ツ方ハ渡ハ四百九十七ツ方ハ渡ハ四百九十八ツ方ハ渡ハ四百九十九ツ方ハ渡ハ五百ツ方ハ渡ハ五百一ツ方ハ渡ハ五百二ツ方ハ渡ハ五百三ツ方ハ渡ハ五百四ツ方ハ渡ハ五百五ツ方ハ渡ハ五百六ツ方ハ渡ハ五百七ツ方ハ渡ハ五百八ツ方ハ渡ハ五百九ツ方ハ渡ハ五百十ツ方ハ渡ハ五百十一ツ方ハ渡ハ五百十二ツ方ハ渡ハ五百十三ツ方ハ渡ハ五百十四ツ方ハ渡ハ五百十五ツ方ハ渡ハ五百十六ツ方ハ渡ハ五百十七ツ方ハ渡ハ五百十八ツ方ハ渡ハ五百十九ツ方ハ渡ハ五百二十ツ方ハ渡ハ五百二十一ツ方ハ渡ハ五百二十二ツ方ハ渡ハ五百二十三ツ方ハ渡ハ五百二十四ツ方ハ渡ハ五百二十五ツ方ハ渡ハ五百二十六ツ方ハ渡ハ五百二十七ツ方ハ渡ハ五百二十八ツ方ハ渡ハ五百二十九ツ方ハ渡ハ五百三十ツ方ハ渡ハ五百三十一ツ方ハ渡ハ五百三十二ツ方ハ渡ハ五百三十三ツ方ハ渡ハ五百三十四ツ方ハ渡ハ五百三十五ツ方ハ渡ハ五百三十六ツ方ハ渡ハ五百三十七ツ方ハ渡ハ五百三十八ツ方ハ渡ハ五百三十九ツ方ハ渡ハ五百四十ツ方ハ渡ハ五百四十一ツ方ハ渡ハ五百四十二ツ方ハ渡ハ五百四十三ツ方ハ渡ハ五百四十四ツ方ハ渡ハ五百四十五ツ方ハ渡ハ五百四十六ツ方ハ渡ハ五百四十七ツ方ハ渡ハ五百四十八ツ方ハ渡ハ五百四十九ツ方ハ渡ハ五百五十ツ方ハ渡ハ五百五十一ツ方ハ渡ハ五百五十二ツ方ハ渡ハ五百五十三ツ方ハ渡ハ五百五十四ツ方ハ渡ハ五百五十五ツ方ハ渡ハ五百五十六ツ方ハ渡ハ五百五十七ツ方ハ渡ハ五百五十八ツ方ハ渡ハ五百五十九ツ方ハ渡ハ五百六十ツ方ハ渡ハ五百六十一ツ方ハ渡ハ五百六十二ツ方ハ渡ハ五百六十三ツ方ハ渡ハ五百六十四ツ方ハ渡ハ五百六十五ツ方ハ渡ハ五百六十六ツ方ハ渡ハ五百六十七ツ方ハ渡ハ五百六十八ツ方ハ渡ハ五百六十九ツ方ハ渡ハ五百七十ツ方ハ渡ハ五百七十一ツ方ハ渡ハ五百七十二ツ方ハ渡ハ五百七十三ツ方ハ渡ハ五百七十四ツ方ハ渡ハ五百七十五ツ方ハ渡ハ五百七十六ツ方ハ渡ハ五百七十七ツ方ハ渡ハ五百七十八ツ方ハ渡ハ五百七十九ツ方ハ渡ハ五百八十ツ方ハ渡ハ五百八十一ツ方ハ渡ハ五百八十二ツ方ハ渡ハ五百八十三ツ方ハ渡ハ五百八十四ツ方ハ渡ハ五百八十五ツ方ハ渡ハ五百八十六ツ方ハ渡ハ五百八十七ツ方ハ渡ハ五百八十八ツ方ハ渡ハ五百八十九ツ方ハ渡ハ五百九十ツ方ハ渡ハ五百九十一ツ方ハ渡ハ五百九十二ツ方ハ渡ハ五百九十三ツ方ハ渡ハ五百九十四ツ方ハ渡ハ五百九十五ツ方ハ渡ハ五百九十六ツ方ハ渡ハ五百九十七ツ方ハ渡ハ五百九十八ツ方ハ渡ハ五百九十九ツ方ハ渡ハ六百ツ方ハ渡ハ六百一ツ方ハ渡ハ六百二ツ方ハ渡ハ六百三ツ方ハ渡ハ六百四ツ方ハ渡ハ六百五ツ方ハ渡ハ六百六ツ方ハ渡ハ六百七ツ方ハ渡ハ六百八ツ方ハ渡ハ六百九ツ方ハ渡ハ六百十ツ方ハ渡ハ六百十一ツ方ハ渡ハ六百十二ツ方ハ渡ハ六百十三ツ方ハ渡ハ六百十四ツ方ハ渡ハ六百十五ツ方ハ渡ハ六百十六ツ方ハ渡ハ六百十七ツ方ハ渡ハ六百十八ツ方ハ渡ハ六百十九ツ方ハ渡ハ六百二十ツ方ハ渡ハ六百二十一ツ方ハ渡ハ六百二十二ツ方ハ渡ハ六百二十三ツ方ハ渡ハ六百二十四ツ方ハ渡ハ六百二十五ツ方ハ渡ハ六百二十六ツ方ハ渡ハ六百二十七ツ方ハ渡ハ六百二十八ツ方ハ渡ハ六百二十九ツ方ハ渡ハ六百三十ツ方ハ渡ハ六百三十一ツ方ハ渡ハ六百三十二ツ方ハ渡ハ六百三十三ツ方ハ渡ハ六百三十四ツ方ハ渡ハ六百三十五ツ方ハ渡ハ六百三十六ツ方ハ渡ハ六百三十七ツ方ハ渡ハ六百三十八ツ方ハ渡ハ六百三十九ツ方ハ渡ハ六百四十ツ方ハ渡ハ六百四十一ツ方ハ渡ハ六百四十二ツ方ハ渡ハ六百四十三ツ方ハ渡ハ六百四十四ツ方ハ渡ハ六百四十五ツ方ハ渡ハ六百四十六ツ方ハ渡ハ六百四十七ツ方ハ渡ハ六百四十八ツ方ハ渡ハ六百四十九ツ方ハ渡ハ六百五十ツ方ハ渡ハ六百五十一ツ方ハ渡ハ六百五十二ツ方ハ渡ハ六百五十三ツ方ハ渡ハ六百五十四ツ方ハ渡ハ六百五十五ツ方ハ渡ハ六百五十六ツ方ハ渡ハ六百五十七ツ方ハ渡ハ六百五十八ツ方ハ渡ハ六百五十九ツ方ハ渡ハ六百六十ツ方ハ渡ハ六百六十一ツ方ハ渡ハ六百六十二ツ方ハ渡ハ六百六十三ツ方ハ渡ハ六百六十四ツ方ハ渡ハ六百六十五ツ方ハ渡ハ六百六十六ツ方ハ渡ハ六百六十七ツ方ハ渡ハ六百六十八ツ方ハ渡ハ六百六十九ツ方ハ渡ハ六百七十ツ方ハ渡ハ六百七十一ツ方ハ渡ハ六百七十二ツ方ハ渡ハ六百七十三ツ方ハ渡ハ六百七十四ツ方ハ渡ハ六百七十五ツ方ハ渡ハ六百七十六ツ方ハ渡ハ六百七十七ツ方ハ渡ハ六百七十八ツ方ハ渡ハ六百七十九ツ方ハ渡ハ六百八十ツ方ハ渡ハ六百八十一ツ方ハ渡ハ六百八十二ツ方ハ渡ハ六百八十三ツ方ハ渡ハ六百八十四ツ方ハ渡ハ六百八十五ツ方ハ渡ハ六百八十六ツ方ハ渡ハ六百八十七ツ方ハ渡ハ六百八十八ツ方ハ渡ハ六百八十九ツ方ハ渡ハ六百九十ツ方ハ渡ハ六百九十一ツ方ハ渡ハ六百九十二ツ方ハ渡ハ六百九十三ツ方ハ渡ハ六百九十四ツ方ハ渡ハ六百九十五ツ方ハ渡ハ六百九十六ツ方ハ渡ハ六百九十七ツ方ハ渡ハ六百九十八ツ方ハ渡ハ六百九十九ツ方ハ渡ハ七百ツ方ハ渡ハ七百一ツ方ハ渡ハ七百二ツ方ハ渡ハ七百三ツ方ハ渡ハ七百四ツ方ハ渡ハ七百五ツ方ハ渡ハ七百六ツ方ハ渡ハ七百七ツ方ハ渡ハ七百八ツ方ハ渡ハ七百九ツ方ハ渡ハ七百十ツ方ハ渡ハ七百十一ツ方ハ渡ハ七百十二ツ方ハ渡ハ七百十三ツ方ハ渡ハ七百十四ツ方ハ渡ハ七百十五ツ方ハ渡ハ七百十六ツ方ハ渡ハ七百十七ツ方ハ渡ハ七百十八ツ方ハ渡ハ七百十九ツ方ハ渡ハ七百二十ツ方ハ渡ハ七百二十一ツ方ハ渡ハ七百二十二ツ方ハ渡ハ七百二十三ツ方ハ渡ハ七百二十四ツ方ハ渡ハ七百二十五ツ方ハ渡ハ七百二十六ツ方ハ渡ハ七百二十七ツ方ハ渡ハ七百二十八ツ方ハ渡ハ七百二十九ツ方ハ渡ハ七百三十ツ方ハ渡ハ七百三十一ツ方ハ渡ハ七百三十二ツ方ハ渡ハ七百三十三ツ方ハ渡ハ七百三十四ツ方ハ渡ハ七百三十五ツ方ハ渡ハ七百三十六ツ方ハ渡ハ七百三十七ツ方ハ渡ハ七百三十八ツ方ハ渡ハ七百三十九ツ方ハ渡ハ七百四十ツ方ハ渡ハ七百四十一ツ方ハ渡ハ七百四十二ツ方ハ渡ハ七百四十三ツ方ハ渡ハ七百四十四ツ方ハ渡ハ七百四十五ツ方ハ渡ハ七百四十六ツ方ハ渡ハ七百四十七ツ方ハ渡ハ七百四十八ツ方ハ渡ハ七百四十九ツ方ハ渡ハ七百五十ツ方ハ渡ハ七百五十一ツ方ハ渡ハ七百五十二ツ方ハ渡ハ七百五十三ツ方ハ渡ハ七百五十四ツ方ハ渡ハ七百五十五ツ方ハ渡ハ七百五十六ツ方ハ渡ハ七百五十七ツ方ハ渡ハ七百五十八ツ方ハ渡ハ七百五十九ツ方ハ渡ハ七百六十ツ方ハ渡ハ七百六十一ツ方ハ渡ハ七百六十二ツ方ハ渡ハ七百六十三ツ方ハ渡ハ七百六十四ツ方ハ渡ハ七百六十五ツ方ハ渡ハ七百六十六ツ方ハ渡ハ七百六十七ツ方ハ渡ハ七百六十八ツ方ハ渡ハ七百六十九ツ方ハ渡ハ七百七十ツ方ハ渡ハ七百七十一ツ方ハ渡ハ七百七十二ツ方ハ渡ハ七百七十三ツ方ハ渡ハ七百七十四ツ方ハ渡ハ七百七十五ツ方ハ渡ハ七百七十六ツ方ハ渡ハ七百七十七ツ方ハ渡ハ七百七十八ツ方ハ渡ハ七百七十九ツ方ハ渡ハ七百八十ツ方ハ渡ハ七百八十一ツ方ハ渡ハ七百八十二ツ方ハ渡ハ七百八十三ツ方ハ渡ハ七百八十四ツ方ハ渡ハ七百八十五ツ方ハ渡ハ七百八十六ツ方ハ渡ハ七百八十七ツ方ハ渡ハ七百八十八ツ方ハ渡ハ七百八十九ツ方ハ渡ハ七百九十ツ方ハ渡ハ七百九十一ツ方ハ渡ハ七百九十二ツ方ハ渡ハ七百九十三ツ方ハ渡ハ七百九十四ツ方ハ渡ハ七百九十五ツ方ハ渡ハ七百九十六ツ方ハ渡ハ七百九十七ツ方ハ渡ハ七百九十八ツ方ハ渡ハ七百九十九ツ方ハ渡ハ八百ツ方ハ渡ハ八百一ツ方ハ渡ハ八百二ツ方ハ渡ハ八百三ツ方ハ渡ハ八百四ツ方ハ渡ハ八百五ツ方ハ渡ハ八百六ツ方ハ渡ハ八百七ツ方ハ渡ハ八百八ツ方ハ渡ハ八百九ツ方ハ渡ハ八百十ツ方ハ渡ハ八百十一ツ方ハ渡ハ八百十二ツ方ハ渡ハ八百十三ツ方ハ渡ハ八百十四ツ方ハ渡ハ八百十五ツ方ハ渡ハ八百十六ツ方ハ渡ハ八百十七ツ方ハ渡ハ八百十八ツ方ハ渡ハ八百十九ツ方ハ渡ハ八百二十ツ方ハ渡ハ八百二十一ツ方ハ渡ハ八百二十二ツ方ハ渡ハ八百二十三ツ方ハ渡ハ八百二十四ツ方ハ渡ハ八百二十五ツ方ハ渡ハ八百二十六ツ方ハ渡ハ八百二十七ツ方ハ渡ハ八百二十八ツ方ハ渡ハ八百二十九ツ方ハ渡ハ八百三十ツ方ハ渡ハ八百三十一ツ方ハ渡ハ八百三十二ツ方ハ渡ハ八百三十三ツ方ハ渡ハ八百三十四ツ方ハ渡ハ八百三十五ツ方ハ渡ハ八百三十六ツ方ハ渡ハ八百三十七ツ方ハ渡ハ八百三十八ツ方ハ渡ハ八百三十九ツ方ハ渡ハ八百四十ツ方ハ渡ハ八百四十一ツ方ハ渡ハ八百四十二ツ方ハ渡ハ八百四十三ツ方ハ渡ハ八百四十四ツ方ハ渡ハ八百四十五ツ方ハ渡ハ八百四十六ツ方ハ渡ハ八百四十七ツ方ハ渡ハ八百四十八ツ方ハ渡ハ八百四十九ツ方ハ渡ハ八百五十ツ方ハ渡ハ八百五十一ツ方ハ渡ハ八百五十二ツ方ハ渡ハ八百五十三ツ方ハ渡ハ八百五十四ツ方ハ渡ハ八百五十五ツ方ハ渡ハ八百五十六ツ方ハ渡ハ八百五十七ツ方ハ渡ハ八百五十八ツ方ハ渡ハ八百五十九ツ方ハ渡ハ八百六十ツ方ハ渡ハ八百六十一ツ方ハ渡ハ八百六十二ツ方ハ渡ハ八百六十三ツ方ハ渡ハ八百六十四ツ方ハ渡ハ八百六十五ツ方ハ渡ハ八百六十六ツ方ハ渡ハ八百六十七ツ方ハ渡ハ八百六十八ツ方ハ渡ハ八百六十九ツ方ハ渡ハ八百七十ツ方ハ渡ハ八百七十一ツ方ハ渡ハ八百七十二ツ方ハ渡ハ八百七十三ツ方ハ渡ハ八百七十四ツ方ハ渡ハ八百七十五ツ方ハ渡ハ八百七十六ツ方ハ渡ハ八百七十七ツ方ハ渡ハ八百七十八ツ方ハ渡ハ八百七十九ツ方ハ渡ハ八百八十ツ方ハ渡ハ八百八十一ツ方ハ渡ハ八百八十二ツ方ハ渡ハ八百八十三ツ方ハ渡ハ八百八十四ツ方ハ渡ハ八百八十五ツ方ハ渡ハ八百八十六ツ方ハ渡ハ八百八十七ツ方ハ渡ハ八百八十八ツ方ハ渡ハ八百八十九ツ方ハ渡ハ八百九十ツ方ハ渡ハ八百九十一ツ方ハ渡ハ八百九十二ツ方ハ渡ハ八百九十三ツ方ハ渡ハ八百九十四ツ方ハ渡ハ八百九十五ツ方ハ渡ハ八百九十六ツ方ハ渡ハ八百九十七ツ方ハ渡ハ八百九十八ツ方ハ渡ハ八百九十九ツ方ハ渡ハ九百ツ方ハ渡ハ九百一ツ方ハ渡ハ九百二ツ方ハ渡ハ九百三ツ方ハ渡ハ九百四ツ方ハ渡ハ九百五ツ方ハ渡ハ九百六ツ方ハ渡ハ九百七ツ方ハ渡ハ九百八ツ方ハ渡ハ九百九ツ方ハ渡ハ九百十ツ方ハ渡ハ九百十一ツ方ハ渡ハ九百十二ツ方ハ渡ハ九百十三ツ方ハ渡ハ九百十四ツ方ハ渡ハ九百十五ツ方ハ渡ハ九百十六ツ方ハ渡ハ九百十七ツ方ハ渡ハ九百十八ツ方ハ渡ハ九百十九ツ方ハ渡ハ九百二十ツ方ハ渡ハ九百二十一ツ方ハ渡ハ九百二十二ツ方ハ渡ハ九百二十三ツ方ハ渡ハ九百二十四ツ方ハ渡ハ九百二十五ツ方ハ渡ハ九百二十六ツ方ハ渡ハ九百二十七ツ方ハ渡ハ九百二十八ツ方ハ渡ハ九百二十九ツ方ハ渡ハ九百三十ツ方ハ渡ハ九百三十一ツ方ハ渡ハ九百三十二ツ方ハ渡ハ九百三十三ツ方ハ渡ハ九百三十四ツ方ハ渡ハ九百三十五ツ方ハ渡ハ九百三十六ツ方ハ渡ハ九百三十七ツ方ハ渡ハ九百三十八ツ方ハ渡ハ九百三十九ツ方ハ渡ハ九百四十ツ方ハ渡ハ九百四十一ツ方ハ渡ハ九百四十二ツ方ハ渡ハ九百四十三ツ方ハ渡ハ九百四十四ツ方ハ渡ハ九百四十五ツ方ハ渡ハ九百四十六ツ方ハ渡ハ九百四十七ツ方ハ渡ハ九百四十八ツ方ハ渡ハ九百四十九ツ方ハ渡ハ九百五十ツ方ハ渡ハ九百五十一ツ方ハ渡ハ九百五十二ツ方ハ渡ハ九百五十三ツ方ハ渡ハ九百五十四ツ方ハ渡ハ九百五十五ツ方ハ渡ハ九百五十六ツ方ハ渡ハ九百五十七ツ方ハ渡ハ九百五十八ツ方ハ渡ハ九百五十九ツ方ハ渡ハ九百六十ツ方ハ渡ハ九百六十一ツ方ハ渡ハ九百六十二ツ方ハ渡ハ九百六十三ツ方ハ渡ハ九百六十四ツ

[illegible]

[illegible]

一

[illegible]

[illegible]

一

[illegible]

[illegible]

[illegible]

（右の方へとりけて打て切るべし）右の糸を左へ流し交れば拍子合
ふ流し知べしこれ鞠も同あるし

たぎりの鞠交れ流の事

たぎりの鞠と打て切るべき左ののふかい海の紋とむすぶ色
浦の紋と結ぶべし鞠の内とくと合て何とも結に打て
右のまわしの中指二つと一つよ打て遣て指はいたと
上へかりて左と上よりめえ打て結ぶ指をたくし中指をたくし
かりて打べきの中指い何のしもよの方上へあべし拇人のあ
指のまえ二の中指と結んのかふりを面て先の海と紋のある
方を上へかし九さいと人の方へあて巻てそのかりの方支度
海と紋のそうとあるして内と上の指に巻て中指二つと鞠
のあ方おも巻人指右の方へ二かりて巻ても巻し巻附は

法の右と右の巻左と右の巻
（かりて巻ても左たりいり鞠のあ）
めるあ巻べし交れ指のまえ
中指い左指右の方へ
左巻て前のまえ二つ
のふかふかいべかりて
たりかしあ海左指の巻指
鞠と右方交れ流の事
鞠い右方へ進上のまえ巻のあ右指
ふいたるあれあと指又いたるあ
初鞠とりて巻て右方と巻のあ流して
交れ指と右方と交て巻指と交れて右の巻指

のゝふ鞆と能打宝のゝ渡方を取てゝ左方と又鞆と成
して渡方と同とも能しを付ハ左方と我太の脇也て鞆
とあるゝふて赤のゝ〳〵ちゝふ物ゝ〳〵海〳〵物左方と出のゝ〳〵
並べ〳〵鞆ハ我尺の方よりはて出て右方ハ鞆ゝゝらと法の方
（赤）て右方と出し矢ハ脇ゝゝと矢ハて左方と出て右方と
矢ハて右方と出あるゝのゝ〳〵鞆とハ付ハ左のゝふ鞆と能
脇ゝのし渡左方と打て赤ハ付し海付のゝ〳〵
左方ゝゝ鞆の射と打ハ下あるゝ〳〵し赤ゝ〳〵

渡矢ハ渡ゝゝ

一

左渡ハ左のゝふ打左渡ハ右のゝふ打て〳〵し打ハ渡と重て
ゝゝゝとゝゝ〳〵ゝ左ゝと打〳〵ゝあるゝふ打て出るゝし脇渡
ゝけゝゝあるゝ左のゝ〳〵ゝ渡ゝゝあの左ゝとゝゝ〳〵

左のゝ〳〵ゝ〳〵ゝ〳〵

国立公文書館
National Archives of Japan

一　壷を買事　右は品あるものの買つてとあるならばとて持て
たのもいたしとまつて持出ちふ事付ハそまし持ゐる
うちとそこは方とせんとおもして買ても無事と人のを
かりて買申し右壷ハ我方へ持ん壷ハ拙方へ買べし
買有たのもとはきたのものもあるの買つてあるの
きらきとそれ引きてたのもあるみとまつて返べし
りに買ものもとゆわ買ものもとん酒と人の花のものもとある
さのたのものもあるたをふ酒もあるし拙方も酒付ゐ
ふ酒おりのいきりけさる壷買事

一　ふ酒おりのいきりけに壷ハふ酒とよくるのをうるのは
われ原小酒ゐて結て買しく人ふ酒れふ酒ゆのるを

たのものふ酒ものとたのものふ酒ものとふ酒也ゆ又ものふ酒付も
結ものを出てものゆ買ものゆ同ものゆ買ものゆ買ものゆ
たをふ酒結ものとふ酒ものとたのものを壷とふ酒ものとふ酒
捨り壷たのものもふ酒おりのものとあるれて買べし
おりのいきりけふ酒ものゆ同ものゆ又拙方
もものふ酒付のものゆ

一　壷と買ふ酒買事

壷と買ふ酒買事ハ拙方ハ壷ハ右ゐ
ものふ酒ものふ酒ものふ酒ものふ酒ものふ酒ものふ酒
一ふ酒ものふ酒ものふ酒ものふ酒ものふ酒ものふ酒ものふ酒
出ものふ酒ものふ酒ものふ酒ものふ酒ものふ酒ものふ酒
ものふ酒ものふ酒ものふ酒ものふ酒ものふ酒ものふ酒

[illegible]

在[illegible]中の付け事しも[illegible]の方へ人の[illegible]の方へ人のたゝ[illegible]

[illegible]

又[illegible]中打ち入て[illegible]上の付[illegible]

[illegible]

[illegible]人の[illegible]道具中間[illegible]

[illegible]人の[illegible]道具[illegible]の[illegible]

[illegible]中間[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]人の中間[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

書[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一　[illegible]

一　文箱ふたの事

文箱ふたを入るゝ事様ようゝ[illegible]文箱ふたに入る
ふたハ第ふたハ[illegible]ふたのまゝ[illegible]但第のふたの中と[illegible]
養方のあるハ[illegible]ふたとあけてふたとハ[illegible]
方ふうはあけて[illegible]文のふたの方と[illegible]方わるし第の内と
養ふたハ[illegible]ふたと[illegible]
細とゆゝ[illegible]文[illegible]
あるのけて[illegible]

御下知を持て渡す事、又先の関と奏者ふたりせてし
て渡す事、常よりしも関書あるを出して出る
文をくるめて、若宮殿中まで紙を入れ奏者とふて
法を問ハ必ず文箱とあけて見て、表渡中ぶる
ハ人ゝ出てかの御紙と給て渡さし又奏者出る
文をくるしい御文箱の印をあけて彼方の紙箱の
外ハ内書の人ゝ出て毎のまゝ外を結て渡し
方のまゝかの方と持て渡しの印を抱て紙を持て
渡したの印をとて渡ハ作りの紙さつ
くも奏者ふたりしてふたりとも出ぶ者ハ作
判の方と持てよりてせて渡さ奏者ふたりの
ゝ他のゝ紙ハ不及とも渡ゝ旬後ハ日後ハ

今ゝ文の御関書ハ出ぶ者ハ作判しらす
ゝ出ぶ者の御文の御関書ハ出ぶ者ハ作
又方の内紙を入れて御書ハ出ぶ者ハ作
文箱の印紙の文箱の外ハ御書ハ出ぶ者ハ作
ぶり渡さん方のまゝ奏者の中紙と持て入る
ふたゝ文箱

御方ゝ方目録文箱渡事

方目録と御の渡紙方目録ハかのまゝ持て帰ハ上書
北宮殿と申ハ作中ゝ作中ゝ持て帰ハ上書奏者
道ハ目録して御方目録ハ右の時ハ重ゝ紙ハ右の
方帰と申ハ向て目録と申ハ右のふたゝ
方のまゝ奏者の方ハ作ゝ目録の方

小の世て金(こ)ゝ(に)月隈の所に古方の丸はた方ふかゝ(ら)て拵方
月隈ゆかゝ(ら)ゝ(ま)ゝ(ま)ゝ(ま

のるまてはかめとはてもはまるしはけもたのうてる知らし物人な
波をはけたのもとゆ神の下へ入てあるふもてを屋し交れんも
たたのもとゆへ入て交れて物たの方ゆても右の
方ゆてもちをおゝまいして波ゝうゝ人のもとゝ持てをゝし
物屋のゝふちるゝ家すゝてあるいてゝこゝゝつを二をまでに
のはるゝゝくゝをゝゝゝ

小神屋をゝ入交れ波事

小神つをゝふゝゝゝ二をゝをゝふゝゝ屋をゝゝ屋ゝふゝゝ
てゝをゝゝし小神の方屋ゝ一門ゝてゝあゝゝゝあゝゝし
物屋たのもとゝあゝのはゝゝゝの初ゝるゝゝ右のゝゝふゝて屋蓋
のゝたゝふちの中屋をゝりちゝて出ゝゝ人のゝゝゝちゝゝ物たの
もとゝをゝゝたのゝゝゝふたのゝもとゝゝて物ゝりのゝゝの方をゝか

人ゝゝはけゝゝ屋ゝゝゝ

一

小神と五郎と待ち申候ハ、五郎ハ小神の方より横物
と右ハ方へ脇ゟ手をのばして法師ハ人の腰をおのれ
の方と人の方へひけて面し横ハ横ハ横ハ面ハ二人して與て面ハ
ハ横ハ横の事五郎と與て面ハ人ハ横ハ五郎の肩の方與ハ人ハ横ハ先
肩の方ハ人ハ横ハ人ハ横ハ人ハ横ハ人ハ横ハ人ハ横ハ人ハ横ハ
とおして一人ともハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ
ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ
ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ
人ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ
横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ
人ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ

一

ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ
ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ
ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ
横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ
横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ
ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ
ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ
ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ
ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ
ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ
ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ
ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ
ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ
ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ横ハ

[illegible]

一　御殿の内小神[illegible]

御殿の内小神[illegible]

[illegible]

一　[illegible]

[illegible]

[illegible]

一　小神[illegible]

小神[illegible]

[illegible]

[illegible]

小神[illegible]

[illegible]

[illegible]

後あのかゝ持て出へし

小神楽方扇法て出事

一 座ゆるされ出るいる細かゝ座所あるゝ人のあるを
へし座ふるゝ出るゝ時ハ太のもふ扇のうのもとを持て
かゝ持出へし小神ハあのかゝあてんのうのようけて出て
出るを出と神楽の時ハ扇と小神のてうのとゝ人の
方へかゝて出るのもとも小神のもとゝ入てあのふ出て座し
手座出るを渡へし交ル張小神ハ扇ハ座と交て左の
時ハ出方を交ル出ル普あるを渡へうゝ人のかゝ持て出し

清扇交ル渡事

一 清扇交ル清の和膳と上あるかゝ二ツ持て座の方と神ハ
和膳ハ出ル出ゝ座の方と出ル

扇の方と神ハ扇て出て出て小神のゝハ持て知て渡ル
座ふるゝ出ル出ゝ小神のかゝ又野山あるゝふて行もて
ゆるあるて扇ハ出ル時も扇ハ出ル出扇交清ぞう
ルて渡へし交ル張小神のかゝ又上のハも同しもし

清能の時出番

一 清能の時番ハ私のもあてゝ知のふ
ふうハ出のもて上とうゝ持て出て出ゝ出もて
いふゝて行ゝ持出ル出ハ別のもうのハ出て同ル
し但上ぞうハゝし清出て出ゝ事ハあるゝし人の
ハうしハ人ゝ出ゝ中ゝ渡出ゝ

国立公文書館
National Archives of Japan

国立公文書館
National Archives of Japan